

第 2 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.03
	縄文弥生			

[問題 1]

次の文を読み、後の各問いに答えよ。

3 世紀の後半になると、日本でも近畿地方を中心とする地域の豪族たちが連合して強力な国が生まれた。その政府を(①)と呼ぶ。この国の王は日本各地の王を従え、5 世紀には(②)と呼ばれるようになった。また、資料 I のような形の(③)と呼ばれる古墳がつくられるようになった。

資料 I



資料 II



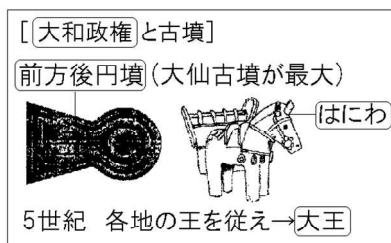
(1) 文中の空欄①～③にあてはまる語句を答えよ。

(2) 下線部の古墳のまわりから出土する資料 II のようなものを何というか。

[解答欄]

(1)①大和政権	②大王	③前方後円墳	(2) はにわ
----------	-----	--------	---------

[解説]



3 世紀後半になると、奈良盆地を中心とする地域には、王を中心として、近畿地方の有力な豪族が支える強力な大和政権が生まれ、大きな墓(古墳)がつくられるようになった。

大和政権の支配の広がりにもなって、前方後円墳などの古墳は、全国各地の豪族によってもつくられるようになった。

大和政権の王は、5 世紀には、九州から東北地方南部にいたる各地の王を従えるようになり、大王と呼ばれるようになった。

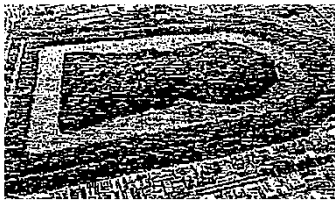
古墳のなかで最大のものは、5 世紀につくられた全長が 486m の大仙古墳である。

古墳のまわりや頂上には、人や動物をかたどった埴輪が置かれた。

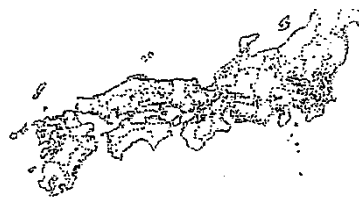
[問題 2]

次の各問いに答えよ。

資料Ⅰ



資料Ⅱ



- (1) 資料Ⅰは、大阪府堺市にある日本最大の古墳である。この古墳を何というか。
- (2) 資料Ⅰのような形の古墳を何というか。
- (3) 資料Ⅱの  は資料Ⅰと同じ形の古墳の分布を示している。古墳が集中しているところは、どのようなところだったと考えられるか。簡潔に説明せよ。

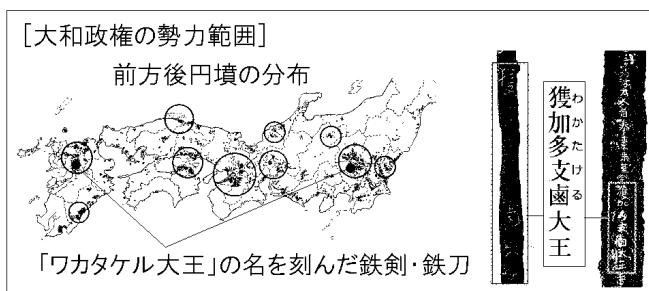
[解答欄]

(1) 大仙古墳

(2) 前方後円墳

(3) 大和政権の支配が及んでいたところ。

[解説]



大型の前方後円墳が最も集中している地域は大和政権が生まれた近畿地方であるが、図のように九州から東北地方南部にも分布しているのがわかる。

また、稲荷山古墳(埼玉県)出土の鉄剣や江田船山古墳(熊本県)出土の鉄刀には、「ワカタケル大王」(＝倭王武)の名が刻まれている。

これらのことから、5世紀には、大和政権の王は九州地方から東北地方南部に至る各地の豪族を従え、大王と呼ばれていたことがわかる。

[問題 3]

次の①～④の各文にあてはまる国を、右の地図中から記号を選び、下の[]から地名・国名を選んで書け。

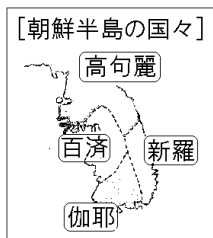
- ① 小国が分立し、大和政権とのつながりが最も強かった。
- ② この国の王から、日本へ仏像や経典が送られた。
- ③ 楽浪郡を滅ぼし、このころの朝鮮半島ではもっとも強力であった。
- ④ 7世紀の後半には、他国を滅ぼし、朝鮮半島を統一した。

[百済 伽耶 新羅 高句麗]

[解答欄]

①エ、伽耶	②ウ、百済	③ア、高句麗	④イ、新羅
-------	-------	--------	-------

[解説]



中国では、4世紀ごろから国内が分裂し、やがて5世紀ごろから、南と北とに分かれて、国々の対立が続いた(南北朝時代)。これによって、中国の朝鮮半島への支配力が弱まり、高句麗が楽浪郡を滅ぼして勢力をのばした。ついで、新羅と百済がおこった。

- ・高句麗：4世紀はじめに楽浪郡を滅ぼし、このころの朝鮮半島ではもっとも強力であった。日本が伽耶(任那)の国々や百済と結んで高句麗や新羅と戦ったことが、高句麗の好太王碑(広開土王碑)に記されている。
- ・新羅：後に(7世紀の後半)、他国を滅ぼし朝鮮半島を統一した。
- ・百済：538年に日本に仏教を伝えた。
- ・伽耶(任那)：大和政権は、朝鮮半島南部の鉄資源を確保するために小国が分立していたこの地方と密接な関係を持っていた。



[問題 4]

次の資料は、大和政権の倭王武が中国の南朝に送った手紙の一部である。これについて、後の各問いに答えよ。

[資料：倭王武(ワカタケル大王)の手紙]

私、武の祖先は、自らよろいやかぶとをつけて山や川をかけめぐって戦い続けました。東は 55 か国。西は 66 か国。さらに海を越えて 95 か国を平定しこの国を作りました。しかし最近、わたしが皇帝のもとへ貢物を持っていこうとすると、(X)がじゃまをして困ります。今度、(X)を倒そうと思っていますので、どうぞわたしを応援してください。

- (1) このような手紙がしばしば南朝の皇帝に送られたのは、どのようなことを認めてもらうためか、2つ答えよ。
- (2) 資料の X に入る国は朝鮮半島の 3 国の中で最大の面積を持つ国である。国名を書け。

[解答欄]

(1) 倭の王としての地位。朝鮮半島南部を軍事的に指揮する権利。

(2) 高句麗

[解説]

[倭の五王：宋へ使い]
倭の王としての地位、
朝鮮半島南部の軍事的指揮権
を認めてもらうため

大和政権は、倭の王としての地位と、朝鮮半島南部を軍事的に指揮する権利を中国の皇帝から認めてもらうために、しばしば中国の南朝に使いを送った。倭の五王が南朝の宋にたびたび使いを送ったことは宋書倭国伝に記されている。

[問題 5]

次の各問いに答えよ。

- (1) 中国や朝鮮半島の戦乱などからのがれ、わが国に移り住んで、進んだ文化や技術を伝えた人たちを何というか。
- (2) (1)の人々によってその製法が伝えられた、高温で焼いた質のかたい土器を何というか。

[解答欄]

(1) 渡来人

(2) 須恵器

[解説]

[渡来人] が伝えたもの]
ため池, 須恵器, 絹織物をつくる技術
漢字, 仏教, 儒学

朝鮮の諸国との交流がさかんになると、朝鮮半島から日本に、一族でまとまって移り住む人々が増えた。こうした 渡来人 は、鉄製の農具を広め、かんがいのため池をつくる土木技術、須恵器 というかたい質の土器をつくる技術、絹織物をつくる技術などを伝えた。文化面では、漢字、仏教、儒学を伝えた。

[問題 6]

次の各問いに答えよ。

- (1) 古墳がつくられた時代、一族で日本列島に移り住んだ渡来人は、何半島から来た人たちか。
 (2) 渡来人が伝えたものを次の[]から4つ選べ。

[漢字 甲骨文字 太陽暦 キリスト教 仏教 儒学 イスラム教 須恵器 石器 金印]

[解答欄]

(1) 朝鮮半島	(2) 漢字、仏教、儒学、須恵器
----------	------------------

[問題 7]

次の文の①～④に適語を入れよ。

4世紀の朝鮮半島の情勢は、北部では(①)が、南部では(②)と(③)が建国され、3国が対立するようになっていた。このころからそれまで以上に日本列島に移住する朝鮮や中国の人が増え、彼らの多くは大和政権に仕えた。彼らはさまざまな技術を伝え、大和政権の力が強まった。また6世紀半ばには(②)から(④)が伝えられ、やがて儒学とともに人々の信仰や文化に大きな影響を与えた。

[解答欄]

①高句麗	②百済	③新羅	④仏教
------	-----	-----	-----